



編集発行  
日本共産党鶴岡市議団  
鶴岡市美原町16-5  
電話22-3313  
qqsw67zb9@bird.ocn.ne.jp

http://www6.ocn.ne.jp/~jcp-tsur/

きつ子 子  
みち智 連絡所  
高橋 智 事務所  
大高 国會議員  
紙 市議団事務  
所  
鶴岡市美原町16-5  
☎22-3313  
FAX24-4096

無料生活相談所

加藤 太一  
稲生 2-6-6  
24-5935  
関 徹  
長者町11-26  
24-2414  
加藤 鉦一  
宝徳 仲田 56  
64-3941  
菅井 巖  
中 桶 9 6  
33-0534

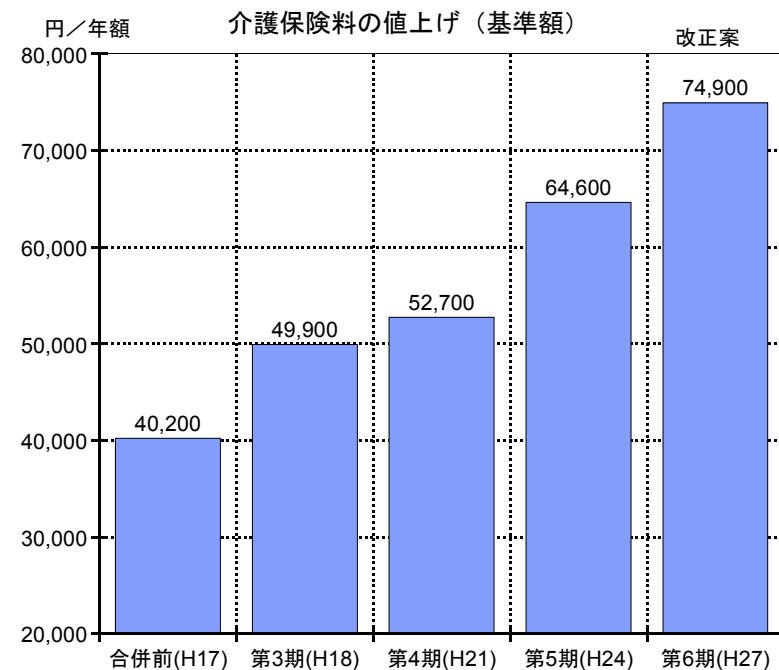
# 「郊外ではサービス受けられない」

## 市介護保険事業計画策定懇話会

2月4日に市の介護 保険事業計画策定懇話

会が開催され、第6期

(平成27年度～平成29年度)の介護保険事業の給付見込と保険料、事業計画の素案が示されました。



施設整備では、入所申込者の増加と施設サービス確保のため特別養護老人ホームを91床、認知症高齢者の増加を想定しグループホーム72床を創設し、地

域で生活を支える小規模多機能型居宅事業所の宿泊を拡充することとしています。また、介護保険料は第1号被保険者(65歳以上の方)の負担割合の上昇と、要介護認定者の増加や施設整備等による給付費の上昇などを要因として、基準額で第5期(平成24年度～平成26年度)の保険料月額5383円に比べて859円アップの6242円、年間で6万4600円を1万3000円アップの7万4900円にしたという提案がされ、了承されました。

市当局からは、「生活支援コーディネーターの設置」「認知症サポーターの養成・拡大」「地域出前型介護予防講座」「介護予防サポーター養成講座」など事業計画の課題も多いたことが報告されました。今後、この懇話会の内容を整理し、市ホームページ等で公開意見公募が行われます。それを経て3月市議会に議案が提案されますので、多くの方より今後の介護保険事業計画等について市議団にもご意見をお寄せください。



## 関とおるの きつぱり発言、ドンドン行動

2015年度の県予算案

13日に発表された26年度補正予算案・27年予算案には、評価できそうな事業が引き続き見受けられました。

低所得者への「福祉灯油」、米価下落に苦しむ農家への「種子購入補助」、私立高等学校等の授業料軽減への支援の拡充、「保育所の若年者の正規雇用化や延長保育への支援」、「介護福祉士修学資金貸し付け制度の拡充」など、予算規模は大きいものではありませんが「あったかい県政」の姿勢が引き続き注目されます。

自民党流の特徴

一方、「県内立地企業の設備投資や本社機能移転への支援」への多額計上、「有機EL」、慶応先端

研関連バイオ事業化」の拡充、「最上小国川へのダム建設費」等々、問題点も増加しています。

「奥羽・羽越新幹線の実現に向けた検討・機運醸成」も盛り込まれました。新幹線は検討課題ですが、巨額の費用を要し、かつ在来線廃止が懸念されますので、前のめりになるのは問題です。

これらは、大型の投資事業と企業誘致、高速交通の整備などで地方が発展するという、既に破綻した自民党流の地方政策です。

県政の「良い面」を伸ばし、問題点は正していくために、鶴岡の議席奪還を始め、日本共産党が県議選で議席を増やすことが必要です。(各事業名は正式名称ではありません)

## 秘密保護法廃止「戦争ノー」 憲法改悪を許さない市民集会

3月15日(日)10時～11時30分  
マリカ広場



集会とパレードを行います。市民が安心して平和に暮らせるように多くの市民の参加をお願いします。

主催 秘密保護法廃止「戦争ノー」  
憲法改悪を許さない市民集会実行委員会



# 食文化を中心に創造的なまちづくりを

## ユネスコ「創造都市ネットワーク」加盟認定記念式典

鶴岡市が昨年12月、ユネスコ「創造都市ネットワーク」の食文化部門に加盟認定された。



創造都市ネットワークは2004年にユネスコが採用したプロジェクトのひとつで、文学・映画・音楽・工芸・デザイン・メディア・アート・食文化の創造産業7分野から、世界でも特色ある都市を認定するもので、食文化部門では鶴岡市が日本で初めてとなり、文化庁文化

の記念式典として、式典と祝賀会が15日、グランドエル・サンで開かれました。

芸術創造都市振興室長の佐々木雅幸氏が「ユネスコ創造都市の挑戦」と題して記念講演を行い、鶴岡市に対する提言では、

「第1に、食文化を中心に創造的なまちづくりを市民とともにすすめ、ユネスコネットワークに貢献する。」

「第2に、地域固有の食文化を継承するとともに、新たなガストロノミー（美食学・美術）を創造し、在来野菜を復活させ、農業を創造産業に転換する。」

「第3に、食文化映画祭などを発展させて、食文化と映画やクラフト、デザインなどと融合して、創造産業群を作り出し、持続的な地域発展をめざす。」

「第4に、若手料理人や食文化の担い手を養成し、また、食育を普及して持続的で健康な社会に向けて貢献する。」

「第5に、地球環境を保全し、飢餓と貧困のない、グローバル社会に向けて貢献する。」と述べ、「加盟認定はゴールではなくスタートだ」と語りました。その後、パネルディスカッションでは、鶴

岡市の奥田政行さんや同ネットワーク食文化部門加盟都市のポ、パヤン市（コロンビア）、全州（チョンジュ）市（韓国）、成都（せいと）/チョントウ）市（中国）の関係者ら計6人が各都市の食文化に関する取り組みを報告しました。

引き続き、「鶴岡食の共演」をテーマに祝賀会が開かれ、伝統料理など12のブースが設けられ、鶴岡市の食文化を味わいながら交流しました。

党市議団の加藤太一・加藤敏一・菅井巖市議も出席しました。

# 新自由主義に対抗する「太い流れ」

14日、鶴岡・田川革新懇、日本共産党鶴岡地区委員会の共催で、

党中央委員会副委員長で国際委員会責任者・元参議院議員の緒方靖夫氏を招いて「世界と日本を語る」と題して講演会が行われ、党市議団も含め会場いっぱいの約150人が参加しました。

緒方氏は、「世界経済は地殻変動的な変化の時代を迎えており、

新興国の経済力が先進国を追い越している」とし、特に中国の現状と、特に中国の現状・課題について詳しく解明しました。

また、互恵関係を原則として発展の道を模索する東南アジア諸国の実態、ラテンアメリカ諸国で広がるアメリカ新自由主義に対抗する「太い流れ」の政治変化に触れる一方、安倍政権の暴走原因は「過去の侵略戦争を否定する歴史認識にある」と報告され、会場からは共感の声が寄せられました。

閉会あいさつで、県議選立候補予定の関とおる党地区副委員長が「世界の流れにも逆行する行動をとり続ける、安倍政権の暴走ス

## 「命より大切な仕事って何ですか」

### 国際女性デー田川地区集会以記念講演

3月8日（日）13時30分から勤労者会館

3月8日（日）13時30分〜15時30分、鶴岡市勤労者会館ホールにて、「2015年国際女性デー田川地区集会」が開催されます。

記念講演は、ブラック企業・ブラックバイトで命を奪われた人た



松丸正弁護士

参加費は500円。お問い合わせは実行委員会（こびあ2階、電話255-3332）まで。

## 緒方靖夫と世界



閉会あいさつで、県議選立候補予定の関とおる党地区副委員長が「世界の流れにも逆行する行動をとり続ける、安倍政権の暴走ス

土木課入札結果（ ）内は予定価格		2月12日入札分
・ 明治橋高欄塗装工事（大山二丁目地内）	(株) 太平堂塗装	1,150,000円 (1,489,000円) 工期~3/30 (落札率77.2%)
・ 新形町2号線道路改良工事(債務負担行為) (新形町地内)	(株) 岡部建設	2,300,000円 (2,472,000円) 工期~5/15 (落札率93.0%)
・ 播磨中京田線道路改良工事(債務負担行為) (中京田地内)	丸栄工務(有)	1,700,000円 (1,745,000円) 工期~5/29 (落札率97.4%)